

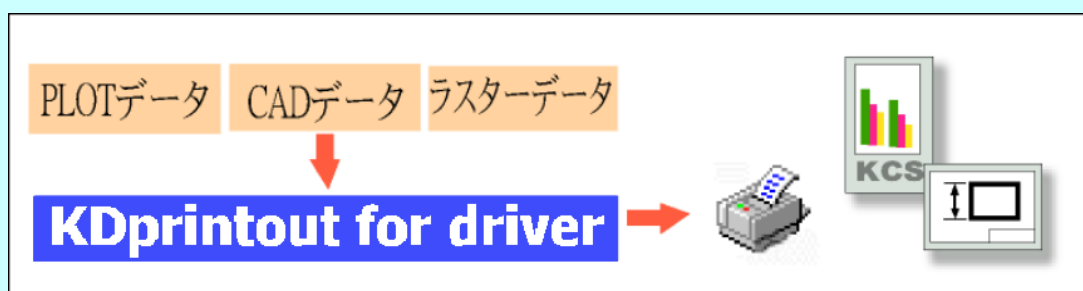
KDprintout for driver



Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部
〒221-0056
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501
URL：<http://www.kernelcomputer.co.jp>

CAD、PLOT (日本語)、ラスターデータをプリンタドライバ経由で高品質な印刷



CAD データ、PLOT データ、ラスターデータを自動認識して読み込み、プリンタメーカー社作成のウィンドウズ・プリンタドライバを経由し、高品質な印刷が行えるプリンタ出力用ユーティリティソフトウェアです。各メーカーのプリンタドライバを使用することでどのプリンタにも出力(印刷)することが可能になっています。FTP 転送も可能です。

プリンタドライバ経由で印刷することによって、プリンタメーカー各社の独自の印刷技術を駆使するためにコンパートソフトから出力されるものより高品質な印刷結果が得られることが最大の特長です。

特長

- ・プリンタドライバ経由のため、高品質な印刷結果が得られます。
- ・各プリンタメーカー社のプリンタドライバを使用することによりどのプリンタにも出力(印刷)することが可能です。
- ・バッチ処理により、フォルダ単位のファイルの一括変換が可能です。
- ・多くのラスターデータ、ベクターデータに対応しています。

対応 OS

Windows XP/ Windows 2000/ Windows Server 2003/ Windows Vista/ Windows Server 2008/ Windows 7

標準価格

標準価格 : 25 万円 (税抜き)

機能一覧

- ・ コマンドラインからの起動のため、フォルダ単位でまとめて一括印刷できます。
- ・ ファイルをアルファベット順、作成日時、最終更新日時での昇順、降順に並べ替えて出力することができます。また、作成日時、最終更新日時で範囲を指定し、範囲内のファイルのみ出力することができます。
- ・ ラスターデータは自動認識可能。ベクターデータはファイルの拡張子からフォーマットを自動認識します。また、ベクターデータの拡張子はフォーマットごとに8個まで指定できます。
(例) HP-GL : plt, hp, gl, dat
- ・ 用紙サイズ混在、縦向き/横向き混在のマルチページデータを指定用紙に自動出力できます。
- ・ 入力データの大きさを見て用紙ごとに異なる出力デバイス、出力用紙、スケーリング等が可能です。用紙サイズごとに出力するプリンタ・プロッタを選別して印刷できます。
(例えば A4 サイズは XEROX プリンタ、A3 サイズはキャノンプリンタなど)
- ・ ページ番号、日付・時間、ファイル名、任意の文字列の合成が可能です。
- ・ 実行時に下記パラメータが指定可能です。
 - ・ 入力ファイル名称、出力デバイス名称
 - ・ 出力用紙サイズ (A4、A3、A2、A1、A0、長尺 (2A0-6A0))
 - ・ 出力部数、両面印刷 (プリンタに依存)、丁合印刷
 - ・ 用紙にあわせて自動縮小指示、スケール、回転、オフセット、用紙中央出力
 - ・ フォルダ単位の一括変換指示
 - ・ ログファイル名称
 - ・ 入力データの用紙サイズごとにスケール、出力デバイス名称、出力用紙サイズ指示
 - ・ マルチページデータのページ選択
 - ・ ベクターデータの文字は Windows Font 名が設定可能
- ・ バーコードを合成することが可能です。(CODE39、CODE128、GS1-128 (UCC/EAN128)、JAN13、JAN8、ITF、NW-7、医療資材商品コード、郵便カスタマーバーコード、QR コード (モデル 2 のみサポート)、MICROQR コード、DataMatrix (ECG200 のみサポート)、PDF417、コンビニバーコード、MicroPDF417、Maxicode、GS1 DataBar (RSS)、GS1 合成シンボル (EAN、UCC 合成シンボル))

操作方法

KDprintout for driver は、コマンドラインアプリケーションです。通常のコマンドと同じように、コマンドラインから実行することや、バッチファイルに組み込むことができます。

変換を実行するには、次のような形式でコマンドラインに入力します。

```
KDprnout 印刷対象ファイル名 -各オプション
```

例えば、シングルページファイル abc.tif を印刷するには、次のように入力します。
(下線部が、入力する部分です。)

```
> KDprnout abc.tif
```

正常に変換できた場合は、次のような表示が出て終了し、リターンコード 0 が返されます。

```
REPORT: [abc.tif] 1/1  
出力終了しました。
```

```
RESULT: エラーは検出されませんでした。
```

エラーの場合は、次のような表示が出て終了し、リターンコードとして 0 以外の値が返されます。

```
ERROR: ****
```

```
RESULT: エラーを*回検出しました。
```

これ以外のエラーメッセージが出ることもあります。

サンプル

<サンプル 1> A3 サイズのデータを A4 用紙へ長手方向をあわせて、用紙サイズに収まるように縮小して出力。

入力データ : a3.tif (A3 サイズ)
オプション : -P[] : []に出力用紙サイズ名称を指定
 -AR : 用紙方向を入力データに自動で合せる
 -A : 用紙サイズにオートスケール

《入力例》

```
C:¥KDprintout for driver>KDprnout a3.tif -PA4 -AR -A -DEVICE"出力プリンタ名"
```

<サンプル 2> 複数の用紙サイズが混在するデータを入力データサイズの用紙で、長手方向をあわせて用紙中央に出力。

入力データ : multi.tif (用紙サイズが混在)
オプション : -AP : データサイズの用紙を自動選択する
 -AL : 用紙の中央に出力する
 -AR : 用紙方向を入力データに自動で合わせる

《入力例》

```
C:¥KDprintout for driver>KDprnout multi.tif -AP -AL -AR -DEVICE"出力プリンタ名"
```

<サンプル 3> 入力データサイズが A3 サイズを超えた場合は、自動スケール (A3) して出力。

入力データ : multi.tif (A4 から A2 の用紙サイズが混在)
オプション : -P[] : []に出力用紙サイズ名称 (A3) を指定
 -AJ : -P で指定された用紙サイズを超えた場合は、用紙に収まるよう自動スケール
 -AR : 用紙方向を入力データに自動で合わせる

《入力例》

```
C:¥KDprintout for driver>KDprnout multi.tif -AJ -PA3 -AR -DEVICE"出力プリンタ名"
```

<サンプル 4> 入力データ名/処理日時/任意の文字列を出力用紙にテキスト合成し、A3 サイズのデータを A3 用紙へ長手方向をあわせて、用紙中央に出力。

入力データ : a3.tif (A3 サイズ)
オプション : -P[] : []に出力用紙サイズ名称 (A3) を指定
 -AL : 用紙の中央に出力する
 -AR : 用紙方向を入力データに自動で合わせる

出力属性ファイルにテキスト合成指示を記述

《入力例》

```
C:¥KDprintout for driver>KDprnout a3.tif -AL -PA3 -AR -DEVICE"出力プリンタ名"
```

入力フォーマット

サポートしている入力フォーマット（モノクロ/カラー）

【ベクターデータ】	【ラスターデータ】
<ul style="list-style-type: none">• DWG (R12J, R13J, R14J, ACAD2000)• DXF (R12J, R13J, R14J, ACAD2000)• HP-GL• HP-GL/2 (HP-RTL 付き)• MICRO CADAM/OFI	<ul style="list-style-type: none">• BMP (非圧縮)• CALSG4 (type1, type2 (tiled))• CCRF (Calcomp)• EDMICS (RLC, MMR)• FAX (MR (G3), MH (G3))• FORMTEK• FX-MMR (XEROX RASTER)• GIF• IOCA (非圧縮, MMR, IBM-MMR)• JPEG• MIEL• NSXPRESS• PCX• PNG• Sun Raster (非圧縮, MMR, RLE)• TIFF (非圧縮, Packbits, G3, G4, JPEG, LZW)• TOS_FILE (NS90:MMR)• XWD <p>その他の EXIF, PBM, PCD, TGA, WMF, FlashPix 等の多数をサポートしています。</p>

推奨プリンタドライバ

- KDriver 経由でのラスターデータ出力対応
- Autodesk DWF Writer 経由での DWF データ出力対応
- DocuWorks Printer 経由で、XDW データの出力対応
- Adobe PDF プリンタ、Acrobat PDFWriter 経由での PDF ファイルの出力対応
- Canon LASER SHOT LBP-750、EPSON LP-8200C、FX DC 250/350/400 ART4-ADV 経由でのプリンタへの印刷対応
- Microsoft XPS Document Writer 経由で、XPS データの出力対応

関連ソフト

別売オプションソフトである **KDauto_trans** (自動監視) と組み合わせることによって指定フォルダの自動監視付き変換を行うことができます。

別売オプションソフトである **KDCONV_DIR** (下層構造のフォルダも含めて一括変換) と組み合わせるとフォルダ以下のデータを自動的に一括印刷できます。

制限事項

【DXF (DWG) ファイルの制限事項】

- ・ R12J, R13J, R14J, AC2000, AC2000i や AC2002 等の AC2000 と同等のフォーマットをサポートします。AutoCAD2004 以降で作成されたファイル (2000 形式で保存されたものは含みません) は未対応です。
- ・ 複合図形のデータ展開オン/オフを属性パラメータにより設定できます。
- ・ 2次元データのみサポートします。3次元には未対応です。
- ・ 文字のフォント名称、反転は未対応です。ただし、XY 両方向の同時反転のみ対応します。
- ・ 特殊文字は、未対応です。
度(°)、±、%、直径(φ)、アスキー記号、オーバーライン、アンダーラインは対応可能です。
- ・ シェイプファイル(拡張子 SHX のフォントファイル)の変換に対応しています。
シェイプファイルは、変換環境に存在している必要があります。
下記のシェイプファイルをサポートします。
Uni font1.0, bigfont1.0, shapes1.1
指定されたシェイプファイルがない場合には、bigfont.shx, txt.shx を使用します。
- ・ モデル空間のみの対応となります。ペーパー空間(レイアウト)には未対応です。
- ・ ポリラインのメッシュ処理は未対応です。ただし、幅付きデータは開始点の線幅を利用します。
- ・ 線種パターン長は有効ですが、パターンは出力フォーマットにより、異なる場合があります。
- ・ ユーザ定義の寸法線は未対応です。また、拡張データを含んだ寸法線も未対応です。
- ・ R13J 以上のコマンドの中で下記コマンドは未対応です。
3DFACE, BODY, OLEFRAME, REGION, 3DSOLID, OLE2FRAME, VIEWPORT
- ・ R14J 以上のコマンドの中で下記コマンドは未対応です。
IMAGE, ACAD_PROXY_ENTITY
- ・ OLE 等を使って貼り付けたデータ (MS-WORD, MS-EXCEL 等) は未対応です。
- ・ シェイプファイルの文字幅/高さの編集はできません。
- ・ HATCH データの島形状処理では、SOLID パターンは最外郭で処理します。
それ以外のパターンは2重の島形状まで対応します。
- ・ 外部参照データについて、イメージファイルのみ可能で、ブロック図形の外部参照は未対応です。
- ・ RAY, XLINE について、図面範囲の最大/最小で切断し、線分で出力します。
- ・ AC2000 以降の図形の線幅についてはサポートしています。
- ・ 押し出し方向の指定には、対応していません。
- ・ 円弧の始終角が同一の場合データを削除します。
- ・ UNICODE (Ver3.2.0) を SJIS に変換することが可能です。
また、シェイプファイルを参照し、AutoCAD 画面と同等のフォントで変換可能です。
- ・ AutoCAD 独自の線種には対応していません。
(BATTING, FENCELINE1, FENCELINE2, GAS LINE, HOT_WATER_SUPPLY, TRACKS, ZIGZAG)
- ・ MTEXT 以外の文字での制御コード(上線、下線)については対応していません。
- ・ シェイプを使用した文字列のベクター変換において、文字列傾斜には対応していません。
指定されている場合、0度として変換します。
- ・ マルチテキスト(MTEXT)の制限を以下の通りとします。
 - ・ 文字幅については未対応です。
 - ・ 文字列の中央揃え、右揃えのときの文字位置は必ずしも正確に一致するとは限りません。
 - ・ 縦方向の位置あわせは中央に固定して出力します。
 - ・ フォントの幅高の違いにより、自動改行の位置や、文字出力位置は必ずしも一致しません。
 - ・ 上下複数行表記は可能ですが、行間隔には未対応のため、上下の文字位置については、入力データと異なる場合があります。
 - ・ 縦書きの場合、一行で、かつ一定の条件で書かれたもののみ対応します。
 - ・ 上下線や複数行表記等は未対応です。
 - ・ 複数行のときに、改行のみの文字列が含まれる場合や、分子や分母に文字列が存在しない分数を含んでいる MTEXT の場合は、文字の出力位置が AutoCAD 上の表示位置とは一致しません。

【DWF データ出力の制限事項】

- ・ プリンタデバイスを「Autodesk DWF Writer」に設定した場合、塗り潰しデータが出力されません。

【FTP 出力の制限事項】

- ・ FTP 出力は、ラスターデータのみ対応となっております。
- ・ FTP 出力は、ラスターデータを転送するので、出力先のプリンタは、ラスターデータを読み取れるプリンタにしておく必要があります。
- ・ FTP 出力では、入力データをそのままプリンタへ出力します。従って、拡大、縮小、回転、出力用紙サイズの指定、バーコード合成、テキスト合成、両面印刷、丁合印刷など KPrintout 特有の機能が使用できません。